

平成 25 年度入社スタッフフォローアップ研修 終了

今年度春に入社した職員を対象とするフォローアップ研修が7月3日～4日の2日間の日程で、高齢者ケア研修センター財田の杜にて開催され19名が参加しました。内容は、下記の通りで、講義の他、演習も多く取り入れられ、皆で考えて発表するという参加型の研修になっています。

この研修は、対象者が多いため、同じ内容で7月31日～8月1日にも行われます。

研修のねらい

それぞれの職場で3ヶ月が経過し、新人研修で習得した知識や技術を改めて復習する機会とし、介護スタッフとして更に実践的な知識や技術を学習しながら、専門職として「知ること」「気づくこと」の大切さを理解します。そして、自ら学ぶ機会を得ようとするスタッフの育成をねらいとしています。また、法人内の他事業所同士の同期のスタッフとの交流を深め、仲間づくりの機会とします。

採用後を振り返って

新人研修を終了した後の、約3ヶ月を振り返り、職員としての心構えや今後の過ごし方について改めて考える機会を持つ。

リスクマネジメント ～ヒヤリハットと事故報告～

法人スタッフとして、ヒヤリハットと事故報告書の意義と使い分けについて学び、日常の業務に生かすと共にリスクを意識したケアにつなげることを目指す。

内容：リスクマネジメントの流れを理解するとともに、ヒヤリハットと事故報告の区別やその取扱い、ヒヤリハット報告書の作成の仕方や活かし方について学びました。

高齢者虐待防止について考える

高齢者虐待や不適切なケアの問題への対策の基本は、背景となる要因を分析し、組織的な取組を行い、その中で職員個々人が必要な役割を果たすことです。高齢者虐待に関する基礎知識を学び、虐待防止に必要な役割を担うための視点について考える。

内容：認知症介護研究・研修仙台センターで作成した高齢者虐待防止教育システムテキストを用いて進め、後半は事例検討を行いました。

課題解決

新社会人として、また新人職員として3ヶ月経過後で直面している仕事上の悩みや不安、要望についてどう話し、どう考えていくべきかについて先輩職員の経験から学ぶ。

内容：課題解決の手法を学び、グループワークで実際に現在抱えている課題を出し合い、解決のための検討を行っています。

技術講習 ～身体に負担のかからない移動・移乗介助～

新人研修だけでは、体得できなかった介護技術について、実践の場に出て2ヶ月たった今、改めて確認し、足りない部分を個別に補足する。また北欧式トランスファーについても再確認し、日々のケアに活用する。

内容：2つのグループに分かれ、スライディングボードを使用した車椅子からベッドへの移乗等、実技演習を行いました。



特養)みたらの杜吉川ユニット主任による「リスクマネジメント」の講義風景



「高齢者虐待防止について考える」のコマでグループワークを終え発表している様子



2日目の技術講習の様子